

iFreeNEXT ATMX+

<3442>

追加型投信／海外／株式／インデックス型

第2期 2023年3月23日決算

日経新聞掲載名：iFATMX

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、香港の株式に投資し、FactSet ATMX+指数（円ベース）の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第2期末	基準価額	5,616円
	純資産総額	922百万円
第2期	騰落率	△17.1%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00（営業日のみ）
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0344220230323◇

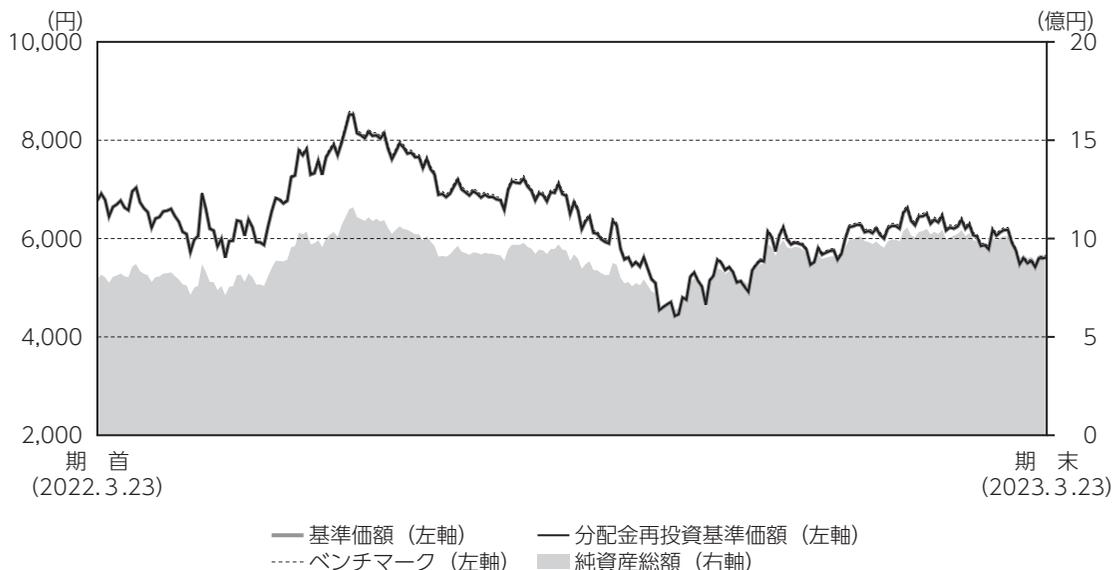
「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークはFactSet ATMX+指数（円ベース）（※配当なし）です。

■ 基準価額・騰落率

期首：6,773円

期末：5,616円（分配金0円）

騰落率：△17.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

ベンチマークへの連動をめざし、主として香港の株式に投資した結果、中国テクノロジー株が下落したことを受け、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.3.24~2023.3.23)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.781%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,379円です。
(投 信 会 社)	(26)	(0.407)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.352)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.057	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.052)	
(先物・オプション)	(0)	(0.005)	
有 価 証 券 取 引 税	9	0.143	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(9)	(0.143)	
そ の 他 費 用	6	0.090	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.079)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	68	1.071	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

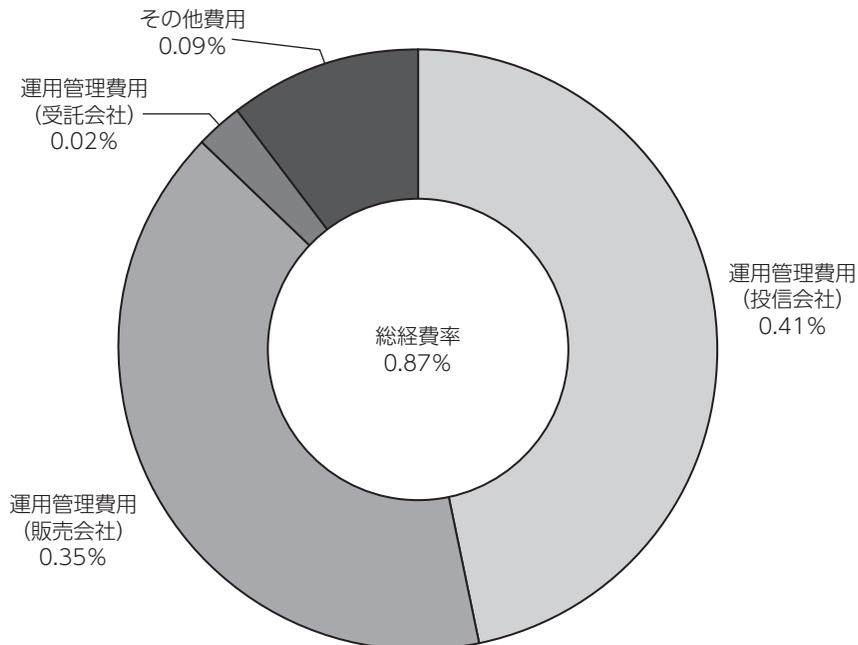
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.87%です。

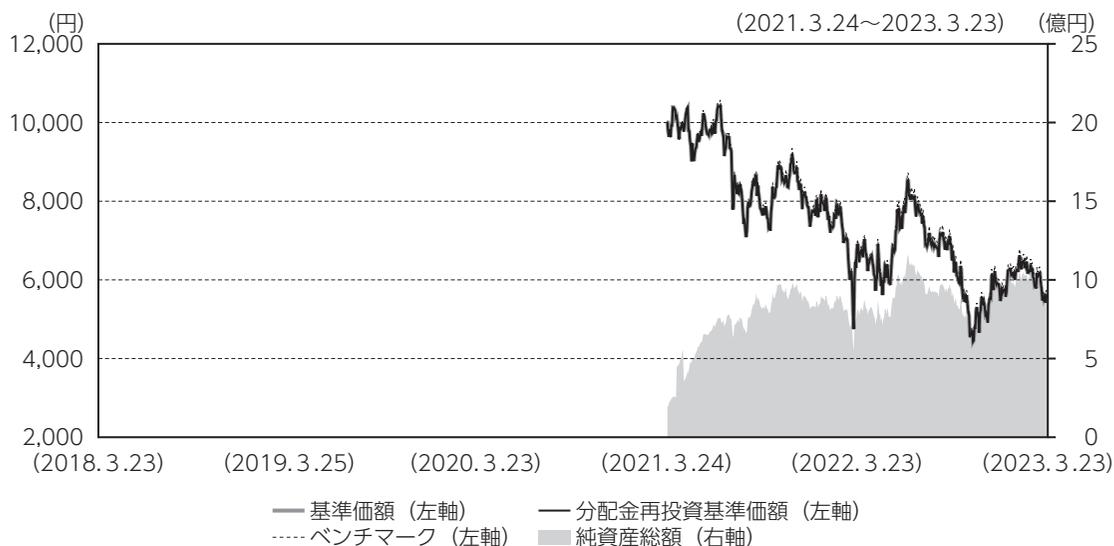


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、2021年3月24日を10,000として指数化したものです。

		2021年3月24日 設定	2022年3月23日 決算日	2023年3月23日 決算日
基準価額	(円)	10,000	6,773	5,616
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△32.3	△17.1
FactSet ATMX+指数 (円ベース) (※配当なし) 騰落率	(%)	—	△31.2	△16.5
純資産総額	(百万円)	200	794	922

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FactSet ATMX+指数 (円ベース) は、FactSet ATMX+指数 (香港ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2022.3.24~2023.3.23)

中国テクノロジー株式市況

中国テクノロジー株式市況は下落しました。

中国テクノロジー株式市況は、当作成期首より、中国国内での新型コロナウイルス感染拡大の影響で下落しました。その後は、政策総動員による政府の景気下支えの姿勢が鮮明になったことを受けて上昇しました。2022年7月以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締めが進む中で中国テクノロジー株も下落しました。10月には共産党新体制が発表されましたが、習近平氏への予想以上の権力集中が明らかとなったことにより、海外投資家を中心に不安感が広がり下落幅を広げました。11月以降は、ゼロコロナ政策と不動産企業への引き締めの緩和、アリババ・グループの金融子会社「アント・グループ」の資金調達の再開等、広範囲な政策是正が発表され、投資家心理は改善して株価を戻しました。2023年2月以降は、好材料出尽くしや米中摩擦を受けて調整して推移し、当作成期末を迎えました。

為替相場

香港ドル円相場は上昇（円安）しました。

香港ドルは米ドルとの通貨レートを一定に保つペッグ制度をとっており、基本的に米ドル円と同様の推移となっております。香港ドル円相場は、2022年3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、当作成期首より円安香港ドル高が大きく進行しました。11月に入ると、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高香港ドル安に転じました。しかし2023年2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、再度円安香港ドル高に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ATMX+インデックス・マザーファンド」を通じ、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

A T M X + インデックス・マザーファンド

主として、香港の株式（D R（預託証券）を含みます。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券（FactSet ATMX+指数の2倍の値動きを享受する債券（円建））、E T F（上場投資信託証券）、E T N（上場投資証券）、株価指数先物にも投資を行うことがあります。

ポートフォリオについて

(2022.3.24~2023.3.23)

当ファンド

「ATMX+インデックス・マザーファンド」を通じて運用を行いました。

ATMX+インデックス・マザーファンド

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ポートフォリオ構築にあたっては、ベンチマーク採用銘柄に投資を行いました。また、効率性の観点から株価指数先物取引を利用し、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

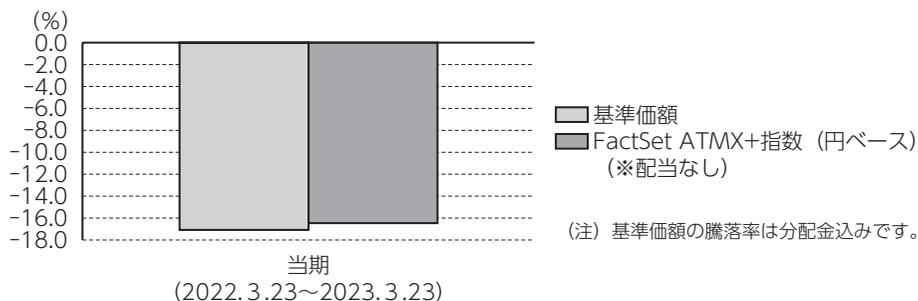
組入ファンド	ベンチマーク
A TMX+インデックス・マザーファンド	FactSet ATMX+指数 (円ベース) (※配当なし)

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は△16.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は△17.1%となりました。

株式の売買時に発生する印紙税や売買手数料・保管費用等のコスト負担が、マイナス要因となりました。また、保有している株式の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークは配当分が含まれていないため、ベンチマークとかい離しました。なお、組み入れている株式ポートフォリオとベンチマークとの騰落率の差異、株価指数先物とベンチマークとの騰落率の差異も、かい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



* ベンチマークはFactSet ATMX+指数 (円ベース) (※配当なし) です。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年3月24日 ～2023年3月23日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ATMX+インデックス・マザーファンド」を通じ、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ATMX+インデックス・マザーファンド

主として、香港の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資成果をベンチマークの動きに連動させることをめざして運用を行います。また、効率性の観点から連動債券（FactSet ATMX+指数の2倍の値動きを享受する債券（円建））、ETF（上場投資信託証券）、ETN（上場投資証券）、株価指数先物にも投資を行うことがあります。



当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2021年3月24日）	
運用方針	投資成果をFactSet ATMX+指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンドファンド	A T M X + インデックス・マザーファンド
	A T M X + インデックス・マザーファンド	イ. 香港の株式（D R（預託証券）を含みます。） ロ. 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動するE T F（上場投資信託証券）およびE T N（上場投資証券） ハ. 中国（香港を含みます。）の株価指数先物取引 ニ. FactSet ATMX+指数の2倍の値動きを享受する債券（円建）（以下「連動債券」といいます。）
マザーファンドの運用方法	①主として、香港の株式（D R（預託証券）を含みます。）（※）に投資し、投資成果をFactSet ATMX+指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。 ※運用の効率化を図るため、以下の資産を組み入れることがあります。 イ. 連動債券 ロ. E T F（上場投資信託証券） ハ. E T N（上場投資証券） ②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。

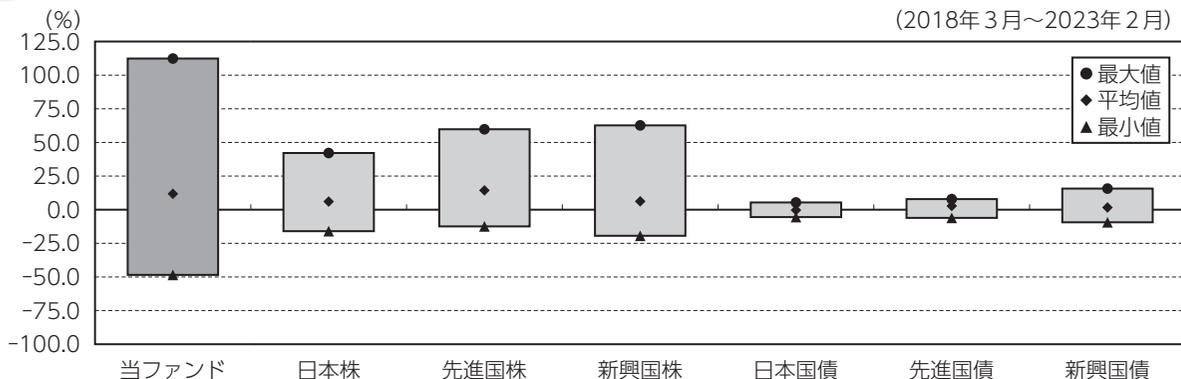
また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。

これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国債
最大値	112.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
平均値	11.8	6.1	14.4	6.2	△0.3	2.8	1.6
最小値	△48.5	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表現しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



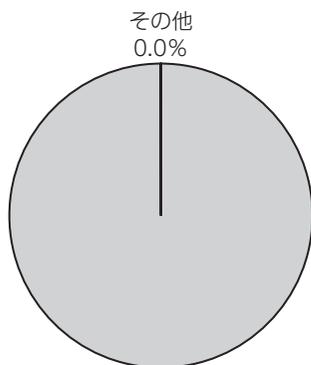
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

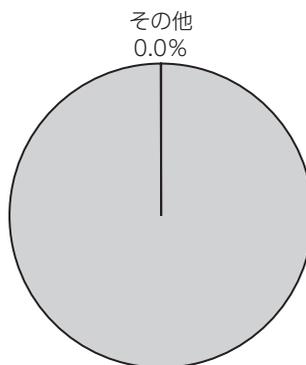
	比率
ATMX+インデックス・マザーファンド	100.0%
その他	0.0

資産別配分



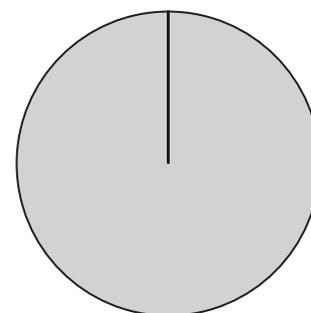
マザーファンド
100.0%

国別配分



日本
100.0%

通貨別配分



日本・円
100.0%

(注1) 上記データは2023年3月23日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2023年3月23日
純資産総額	922,571,818円
受益権総口数	1,642,726,835口
1万口当り基準価額	5,616円

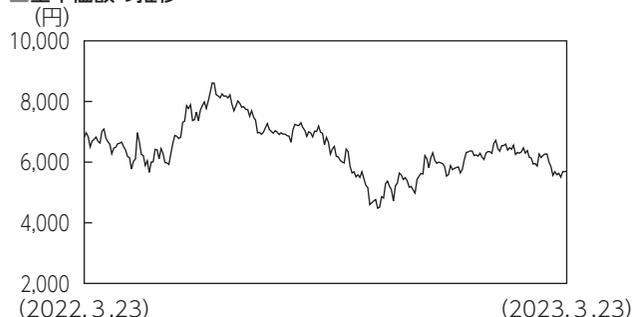
* 当期中における追加設定元本額は1,178,848,014円、同解約元本額は708,580,618円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ ATMX+インデックス・マザーファンド（作成対象期間 2022年3月24日～2023年3月23日）

■ 基準価額の推移



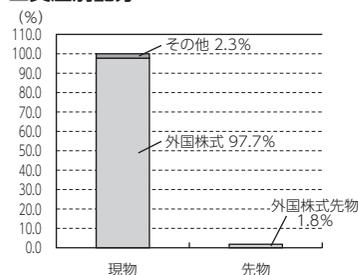
■ 1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	4円 (3) (0)
有価証券取引税 (株式)	9 (9)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)
合 計	18

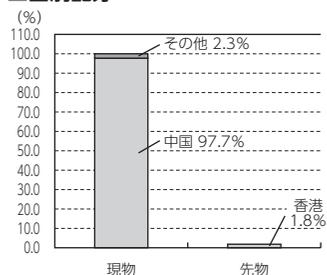
■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
BAIDU INC-CLASS A	香港・ドル	12.6%
TRIP.COM GROUP LTD	香港・ドル	12.5
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	11.5
NETEASE INC	香港・ドル	10.7
LI AUTO CLASS A INC	香港・ドル	10.4
XIAOMI CORP-CLASS B	香港・ドル	9.5
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	9.2
MEITUAN-CLASS B	香港・ドル	7.5
JD.COM INC - CL A	香港・ドル	7.2
NIO CLASS A INC	香港・ドル	6.7
組入銘柄数	11銘柄（先物含む）	

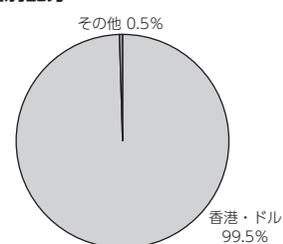
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。